

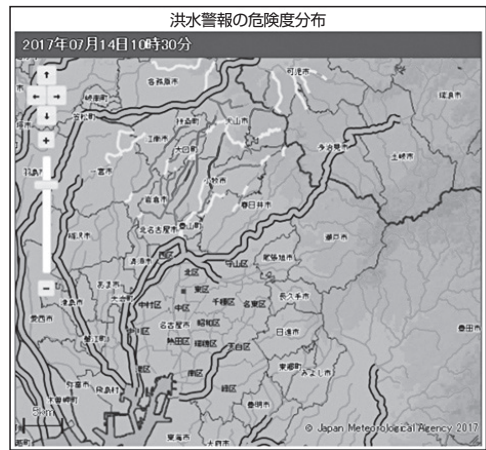
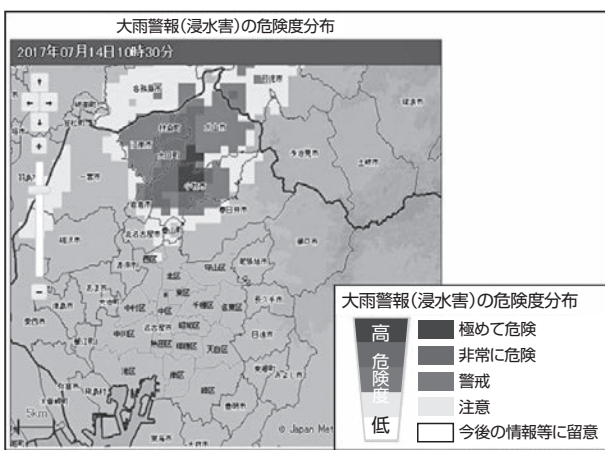


**防災気象情報を活用しましょう**

気象庁は、雨による災害発生の危険度の高まりを評価する技術を活用し、危険度分布の提供をしています。

これは、大雨・洪水警報が発表されたときに、実際にどこで危険度が高まるかを、色分け表示により一目でわかるようになっています。

詳しくは気象庁ホームページをご覧ください。



**問合せ先** 名古屋地方気象台防災グループ  
 ☎(751)5124

**防災豆知識 災害時の感染予防**

西日本を中心に甚大な被害が発生した平成30年7月豪雨や、東日本で多くの河川が氾濫した令和元年東日本台風(昨年10月)をはじめ、10月ごろまでは雨・風による災害が起きやすい時期です。

災害が発生した場合の避難所に潜む危険性の一つとして、感

染症のまん延が挙げられます。今できる対策を進めましょう。  
**考えられる原因**

水道等が停止すると、衛生環境が悪化します。また、栄養が平常時よりも偏りやすいこと、ストレスを感じることから免疫力が低下します。

避難所では多くの人が密集して生活するため、感染症が発生すると、まん延しやすくなります。

**対策① 衛生環境の向上**  
 マスクやウェットティッシュ、除菌用品など、衛生を保つ物を備蓄しましょう。

また、避難所のトイレでは、必ず履物を履き替え、協力して掃除を行うなど、きれいな状態を保ちましょう。

**対策② 栄養の摂取**  
 家庭で備蓄している食料品を見直し、より栄養バランスがとれるよう、サプリメントなどの備えを考えてみましょう。

**対策③ 免疫力の向上**  
 普段から運動を心がけるなど健康を維持し、免疫力を向上させましょう。

**対策④ 避難所生活の回避**  
 避難所で生活しなければなら

ないものではありません。離れて暮らす家族や親族、友人宅に滞在させてもらうことも、重要な避難行動です。また、家屋の耐震補強を行い、地震時の被害を減らすことも、避難所生活の回避につながります。

**対策⑤ 咳エチケット**  
 咳やくしゃみが出たときに周りに病気をうつさないためのマナーを守りましょう。常にマスクを着用し、マスクがない場合には、ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。

**防災行政無線 電話応答ダイヤル**

**☎(444)2121**

町が防災行政無線で直近に放送した内容を専用ダイヤルで聴くことができます。ぜひご利用ください。

このままの問合せ先  
 役場 防災危機管理課  
 内線151・152

# 家具の転倒防止をしましょう

家具を固定することは、地震に対する備えとして極めて有効な対策です。

家具の転倒・落下により、ケガをするだけでなく、倒れた家具により、部屋の出入り口や廊下がふさがれ、避難することが困難になります。

日頃から家具の固定をし、配置を考えて地震に備えましょう。

**問合せ先** 役場 防災危機管理課 内線151・152

<p><b>タンス・棚</b></p> <p>L字金具などで固定します。支え棒を使用する場合は壁側の位置に設置し、免震ゴムを家具の手前側に入れるとよいでしょう。</p> <p>上段と下段に分かれたキャビネットなどは、つなぎ目を金具で連結します。</p>	<p><b>額縁</b></p> <p>チェーンや金具でしっかり固定します。ガラス面には飛散防止フィルムを貼ると安全です。</p>	<p><b>照明器具</b></p> <p>つり下げ式の照明器具については、チェーンと金具で数箇所を固定します。また蛍光灯は、蛍光管の両端を耐熱性のテープで止めておきます。</p>	<p><b>冷蔵庫</b></p> <p>粘着テープを使用した、転倒防止用の専用ベルトが市販されています。また、チェーン等で固定できるよう、上側にフックがついている場合もあります。</p>
<p><b>テレビ</b></p> <p>家具の上などには置かず、できるだけ低い位置に置いて固定します。</p>			
<p><b>食器棚</b></p> <p>両開き扉タイプの食器棚などは、扉が開かないように止め金具を付けます。ガラス面には飛散防止フィルムを貼ると安全です。</p>	<p><b>ピアノ</b></p> <p>本体にナイロンテープなどを巻き付け、太めの柱に取り付けた金具に連結し、しっかりと固定します。</p> <p>脚には専用のすべり止め器具を付けましょう。和室用と洋室用の両方が市販されています。</p>	<p><b>窓</b></p> <p>ガラス面に飛散防止フィルムを貼ります。</p>	<p><b>玄関・ブロック塀</b></p> <p>玄関や縁側など、外への避難路となるところは、家具の転倒などでふさがれないよう、配置を工夫します。</p> <p>ブロック塀のあるご家庭は、傾きやひび割れ、破損がないか点検しましょう。</p>
<p><b>暖房器具</b></p> <p>耐震自動消火装置付きのストーブを使用し、周囲に燃えやすいものを置かないようにしましょう。</p>			

